



市内中学生が一日税務署長に就任 税の大切さを呼びかける

1月15日、中学生の「税についての作文」※で、竜ヶ崎税務署長賞を受賞した市内在学の中学生2人が、一日税務署長を務めました。取手第二中学校2年生・神戸亜莉紗さん(写真左から2人目)、江戸川学園取手中学校3年生・大畠あかりさん(写真左から3人目)が、作文の朗読や税に関する広報活動を実施。取手駅では、キャッシュレス納付の案内などが書かれたティッシュを行き交う人たちに手渡しました。大畠さんは「税金は、自分の力では立てないときに心の支えになることがある。改めて税の大切さをみんなに伝えたい」、神戸さんは「自分が納める税金がどのように使われるか、理解した上で社会に貢献できる大人になりたい」と抱負を話しました。



※将来を担う中学生に、税を正しく理解してもらうため、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁の共催で、作文募集を行っています。



住民避難・避難所開設訓練を実施 防災意識を高める

2月3日、市は双葉地区の方を対象とした住民避難訓練や、小文間地区自主防災会による避難所開設訓練などを実施しました。この訓練は、大雨警報などによって双葉地区に「高齢者等避難」や「避難指示」が発令されたため対象となった住民が、旧小文間小学校へ避難する想定です。災害時の避難輸送協定を結んでいる貸し切りバス事業者が、市の要請を受けて、双葉地区にバスを配備。防災無線を合図に、双葉地区の住民が、バスや自家用車で旧小文間小学校避難しました。避難後は、体育館で避難者用パーティションなどの設置体験や、水戸地方気象台・NTT東日本による防災講演会を開催。双葉自主防災会長の小橋正男さんは「初の試みとなったバスでの避難訓練や避難者受け入れなど、市主導で実現し、感謝している。今後も避難訓練を定期的実施してほしい」と防災意識を高めていました。



食育推進×選挙啓発 絶品対決 デザート選挙



1月16日、永山小学校で、食や選挙への関心を高めるためのデザート選挙が行われました。給食で提供されるデザートを選ぶ模擬選挙で、児童はデザートの絵やPRポイントが書かれたポスターを見て記載した投票用紙を、実際の選挙で使われる投票箱に入れていきます。児童は、「今回体験したことを生かし、大人になっても投票に行きたいです」と意欲的に話しました。



貴重な文化財を火災から守る！ 文化財防火デー 東漸寺で消防訓練



2月2日、東漸寺で文化財防火デーに伴う消防訓練を実施しました。県指定文化財の観音堂から出火したとの想定で、初期消火・通報など、火災発生時の流れを確認。最後に市消防と消防団による一斉放水を行い、万一の事態に備えました。訓練の参加者からは「実際に消火の体験ができてよかった」「貴重な文化財を守るため、訓練は大切だ」などの声がありました。

アートによる文化創造の場づくりに挑戦 取手アートプロジェクト 第12回

☎ 文化芸術課 ☎ 内線1292

市は、アートのあるまちづくりを進めています。平成11年には市民・取手市・東京藝術大学の三者が共同で、取手アートプロジェクト(TAP)を立ち上げました。「アートのまち取手」で続いているTAPの活動を紹介します。



TAPの最新情報・詳細

▶わたしとあなたの「アートのまち取手」

この連載では、取手アートプロジェクト(TAP)の活動を紹介してきました。紹介した活動を見て、「これがアートなの?」と疑問に思った方や、新たな発見があった方がいるかもしれません。

文化芸術は、表現をする人だけのものではなく、全ての人々が自らの体験などを基に、新しい価値観を考え、生み出すことができます。TAPの活動においても、芸術を通して人と人の対話から新しい価値観が生まれるような取り組みがあります。社会の中での学びや遊び、発見や創造などを通して「アートのまち取手」をつくり続ける場に参加してみませんか。

▶活動に参加した人の感想

- ・ 耕すプロジェクトに参加しました。藝大の敷地内で、普段は触れることのない自然環境の中で活動し、自然の力強さを感じました。
- ・ 大空凧プロジェクトでは、TAPと一緒に凧揚げを復活させたことで地域の絆が戻り、コミュニティの広がりを実感しました。
- ・ ヤギの目の活動に参加し、藝大の中でヤギと接することで、普段と違う視点で過ごす時間も大切なんだと気づきました。



大空凧プロジェクト：地域の人たちも大勢参加しました。